

## 今後の市民協働事業提案制度について



### ◎背景

- ・ 阪南市においては、少子高齢化・人口減少などを背景に、市民と行政が地域の様々な課題や社会的課題を共有し、ともに課題の解決や改善に取り組むことが必要となっている。
- ・ 市民協働事業提案制度は、団体が持つ知識、経験、柔軟性などをいかし、団体と行政が協働して、課題の解決・改善に向けて取り組むために、スタートした。今年度で5年目を迎える。

### ◎現状

- ・ 平成25年度の応募・提案は、計6件、平成26年度の応募・提案は、計2件、平成27年度の応募・提案は、計1件、平成28年度の応募・提案は、計2件であった。
- ・ 初年度の件数は多かったものの、2年目以降は、件数が1、2件となっている。

### ◎今までの推進委員会・市民活動センターのご意見について

- ・ 市民活動が活発な他市でもよく似た件数ということがわかった。事業提案して協働するということは、団体にとってレベルの高い作業や能力が必要になってくる。団体は沢山あるが、数万円の会場代や研修会での講師料などを必要としている団体が多いのではないかと。団体支援をし、運営を少しお手伝いできるような仕組みがあれば全体に底上げできると思う。
- ・ 団体には、提案制度はハードルが高い。団体に提案制度をすすめたり、具体的な市設定テーマに関する話し合いの場を持ったりしているがプレゼンテーションに出てまでという声があるなど、なかなか提案には至らない。



### ◎皆さんのご意見を踏まえての今後の提案制度について

- ・ 上記のご意見も踏まえ、新しく活動を始めた団体であったり、新しい事業を始めたりする団体の支援になるような制度を新しく検討する。
- ・ 一定の財源が必要になるが、必ずしも財源が確保できる訳ではない。

#### 【検討する項目・課題】

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| ①団体の要件について | ②事業について    | ③募集区分について     |
| ④支援の期間について | ⑤支援の金額について | ⑥支援団体の上限数について |
| ⑦提案の限度     | ⑧ 審査について   | ⑨スケジュールについて   |
| ⑩企画書等の様式   | ⑪情報の公開について | など            |

— 他市町村の参考事例 —

	人 口	名 称	主 体	財 源	団体年数	金 額
阪南市	55,536	◎市民協働事業提案制度	市	市	1年以上	上限なし
熊取町	43,948	◎住民提案協働事業制度 *育成編	市	市	概ね1年以上3年以内	上限10万円 (対象経費の4/5以内)
		*実践編(住民提案型・行政提案型)	市	市	なし	住民提案型:30万円(対象経費の2/3以内) 行政提案型:事業毎に予算の範囲内で上限額を決定
豊中市	396,749	◎協働事業市民提案制度	市	市	なし	*なし
		◎市民公益活動推進助成金制度 (とよなか夢基金) *初動支援コース	市	基金	*取り組んで3年以内	*事業費の3/4以内(上限10万円)
		*自主事業コース	市	基金	*1年以上	*事業費の1/2以内(上限50万円)
箕面市	134,748	◎夢の実支援金 (みのお市民活動支援金) *立上げ応援!コース	市民活動センター	基金	*なし	*上限10万円(対象経費の4/5以内)
		*発展応援!コース	市民活動センター	基金	*なし	*上限80万円(対象経費の3/4以内)
		*自治会活動応援コース	市民活動センター	基金	*なし	*なし
川西市	155,500	◎市民協働事業提案制度(自由提案型) *協働の芽 応援型	市	市	*なし	*上限4万円(対象経費の4/5以内)
		*自主事業型	市	市	*なし	*上限20万円(対象経費の1/2以内)
相模原市	721,849	◎協働事業提案制度	市	市	*1年以上	*なし(対象経費の9/10以内)
		◎相模原市市民・行政協働運営型市民ファンド「ゆめの芽」	特定非営利活動法人	基金	*なし	*なし

※基金とは、特定の目的のために準備された元手となる資金のことである。